

紀北町大原地区で 獣害対策検討会を開催しました！

平成 30 年 1 月 29 日(月)、紀北町大原集会所にて、獣害対策検討会を開催しました。

大原地区では、鳥獣被害防止総合対策事業（国補助金事業）によりワイヤーメッシュ柵を設置していますが、イノシシやシカにより柵が破壊され、農作物は獣害被害を受け、柵の管理にも苦労しています。そこで、平成 29 年 2 月から、県の農業研究所の実証試験として、ワイヤーメッシュ柵の下部に直管パイプを通して補強したり、防草シートを設置して目隠しをしました。



直管パイプによる補強



防草シートによる目隠し

今回の検討会では、その実証試験の結果報告と、今後の取り組みについて話し合いました。

直管パイプを通した場所では、柵の下に穴を掘っての侵入や直管パイプの上の柵を破っての侵入はありましたが、直管パイプを曲げて柵を持ち上げられることによる侵入は防ぐことができました。また、防草シートは風に弱く、平成 29 年 10 月の台風で破損してしまいましたが、設置していた場所からの侵入を防ぐことができました。

生産者の方からも効果があったとの意見をいただきました。直管パイプ設置場所でも、防草シート設置場所でも、柵の損傷数が減り、柵の管理労力も減ったそうです。

今後の取り組みについては、防護柵と柵周辺でのわなによる捕獲の組み合わせが効果的であることを紹介しました。捕獲を行うには、止め刺しのみ猟友会の方に依頼し、集落の人たちでわなを設置し、餌付けや止め刺し後の処理をするという、集落で協力した体制で取り組むのが最も効率的です。集落で協力して捕獲に取り組むかどうかについて、今後検討していきたいと思います。



実証試験の結果報告の様子



実証試験の効果についての聞き取りの様子